

原発問題を考えよう！

危険なプルサーマルは即刻やめるべき！！その4

プルサーマルについては、プルトニウムを燃料に使う危険性が一番の問題点ですが、問題はそれだけではなく、経済性にも大いに問題があります。

2004年3月、経産相の諮問機関「総合資源エネルギー調査会」が出した報告書によると原子力発電に関するバックエンド事業(※1)に要する費用は18.8兆円と試算されています。この18.8兆円は「19兆円の請求書」と言われることもあります。

この約19兆円を誰が払っているか？

知っている人は少ないと思いますが「税金？」「電気料金？」どちらにせよ私たちが負担していることは容易に想像がつくと思います。

(※1)バックエンドとは、一言で言えば原発の後始末のことで、原子力発電所でウラン燃料を燃やした後の工程、使用済み燃料を再処理し、燃え残ったウランや新たに発生したプルトニウムを取り出してMOX燃料に加工したり、再処理工場などから出る放射性廃棄物进行处理処分したりすること。

12兆以上かけて9000億円程度の価値しか！！

実際は、2006年から電気料金に上乗せする形で電気の利用者である私たちが払っているのです。しかし、電力会社の電気料金明細書には「太陽光促進付加金」は記載されていますが、このバックエンド事業に関する項目はありません。つまり、太陽光発電は負担がかかるという印象を与える一方で原発にかかる費用については隠そうとしているとしか考えられないのです。

ある試算によると、このバックエンド事業に関して、一世帯一月あたり約150円～180円くらいの負担をしていると言われています。

このバックエンド事業の報告書からプルサーマルにかかる費用を計算すると、六ヶ所村再処理工場で40年間使用済み燃料を再処理するのに11兆円、そして再処理されたものをMOX燃料に加工するのに1兆1000億円、合わせて12兆1000億円となりますが、政府の審議会では12兆円以上かけたMOX燃料の価値をウラン資源に換算すると9000億円程度という報告が出されています。まさに金食い虫でこれ無駄と言わずして何を言うという感じです。

核燃料サイクルの一環であるプルサーマルを行うのにこれだけの無駄があるのだから核燃料サイクルをやめ、危険なプルサーマルは即刻やめるべきです。

明日の日本のためにも原発問題を考え、行動しましょう！